

# MiTA

2018/3/19

Vol. **62**

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association



祝 水島港国際物流ターミナル整備事業着工式典



祝

水島港国際物流ターミナル整備事業着工

祝

水島港国際物流ターミナル整備事業着工

## Contents

**特集**

# MITA設立20周年記念講演会

- ・水島港国際物流ターミナル整備事業着工式典
- ・玉島ハーバーアイランド新規企業立地
- ・水島港見学会
- ・JFE西日本フェスタinくらしき&三菱感謝祭
- ・水島港の利用促進に関する意見交換会
- ・水島港の定期コンテナ航路等の紹介

# 特集 MITA設立20周年記念講演会

MITAは、平成9年3月の設立以来、水島港の利用促進を図るため、岡山県、倉敷市とともに官民一体となって各種事業に取り組んでまいりましたが、今年、設立20周年を迎えました。

そこで、これを記念するとともに、今後の水島港のさらなる発展に向けての機運を醸成するため、11月27日(月)、倉敷アイビースクエアにおいて、設立20周年記念講演会を開催しました。

当日は、来賓、会員合わせて122名のご出席をいただき、倉敷市の伊東市長(副会長)の挨拶の後、一般社団法人ウォーターフロント協会会長の金澤寛氏、三菱自動車工業株式会社水島製作所副所長の野村泰弘氏、全農サイロ株式会社代表取締役専務の荒波隆一氏にご講演をいただきました。

講演会終了後の記念レセプションでは、伊原木知事(会長)の開会挨拶に続き、石井正弘参議院議員、谷合正明参議院議員、柿田省三倉敷市議会議長から祝辞をいただきました。



レセプションで挨拶する伊原木会長

かつたと思いますが、それを上回る効果が絶対であると国交省だけでなく財務省もきちんと認めたうえでのことだと思います。これも丸ですね。

それから、日本では港湾物流は国民生活全般に影響が強く、安全な港というのは非常に大事なので、港全体のBCP(事業継続計画)を作ったかどうかという話を内々しましたが、もしまだであれば、今後考えていただくようにと思います。

あとはMITAを中心にポートセーラスを随分やっておられますよね。今後のアジアを考えると、韓国、中国からインドシナ半島の国々、またインドへと、比重が変わっていますから、MITAの会員、特に水島の企業の皆さんの関係先も変わってくると思います。そこをきちっと捉えて、直行便ができるような運動を抜けて目なくされるとよりよい港になると思います。

コンテナに関してはこんな話を過去2回の講演で、その後も何かの折に申し上げ、大体できていますが、まだこれからというの若干ありますので、その辺を頑張っていたかと港が益々すばらしいものになるし、更に港を中心とした岡山県、あるいは中四国の、もつと広く言えば日本の経済振興に役立つのではないかと思います。

それから、コンテナだけでなく、今年予算にも載ったバルク戦略港湾です。日本では、海外から鉄鉱石や石炭、あるいは穀物を専用船で企業の専用岸壁に運んできますが、パナマ運河やスエズ運河も拡張され、経済効率から船が益々大型化しているにも関わらず、施設の対応が追い付かない。そこを、企業間で共同してもらおうと公共性が出てく

## 「最近の港湾行政の動向と水島港への期待」

講師／一般社団法人ウォーターフロント協会会長 金澤 寛氏



金澤 寛氏

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました金澤でございます。今日はMITAの20周年記念おめでとうございます。私は、仕事柄関係が深かったということもあるし、岡山市の出身ということもありMITAの関係でお話するのは今回が3回目になります。

最初は、石井参議院議員が知事の一期目の時に、水島港が特定重要港湾に昇格したことを記念して、平成15年に岡山県東京事務所対談をさせていただきました。2回目は、MITA10周年記念講演は私の同僚で現職の鬼頭君にやってもいいかもしれませんが、その前に東京で行われた講演会で講師をさせていただきました。

1回目も2回目も、これからの日本がアジア、また世界の中で様々な製造業を展開していく中で、非常に大事になるコンテナの輸送について主としてお話をさせていただきました。

それから、最近、港湾関係者で話をするに必ず出るのは近年急増しているクルーズ船ですね。政府でもインバウンドの目標を2020年に500万人とされています。水島は工業港ですが、倉敷の美術館ですとか、産業観光、それと多島美、その辺整頓してやるとおもしろいと思います。

こんなことを念頭に、私が前回お話し申し上げて、その後の状況をたった半日ですが視察させてもらって、皆さんご努力され、いい線いっているなと思いました。逆に言うと、だから20周年をこうやって迎えられるのかなという意味で皆さん方が一生懸命ご努力されていることに敬意を表したいと思います。

### 「港湾の中長期政策について」

今までの話は皆さんがご努力されてきたことに対する評価ですが、ではこのままでいいかというところでなく、国交省の中長期構想も参考にもっといろんな意味でお考えになって頑張らなければならないと思います。

港は世界と繋がっていますから、世界がどう動いていくか、世界の経済、社会、また地政学的なことまで考えて計画を作る必要があります。今回、国の港湾の中長期政策「PORT2030」の概要(中間取りまとめ案)が公表されています。前回の長期政策では、アジア

今回3回目なんです。私ももう辞めてから10年近くになりますので、ご縁があります岡山県の港湾審議会の委員は務めています。水島港はしばらく見ていないので、実はこの10月に県の方に半日ぐらいで案内をしていただきました。私が過去2回に話した内容が一体どうなっているのかなという視点で見てもいいですが、まずその辺を最初にお話しして、それから最後の方に港湾局が今創っている長期政策の中間報告について、水島港と関連がありそうな所をお話させていただきます。

「水島港の整備に対する評価について」 それではまず、10年ほど前に考えておられた水島港の整備の状況がどうなっているのか。結論を言うと、非常にすばらしいなと実際に見て思いました。学校の先生が点をつけると、多分90点はとっているのかなと思います。

まず第一に、コンテナの話ですが、従来、港湾法に基づく港湾管理者は県や市など公共的団体なのですが、コンテナの運営管理は商業的センスを非常に要するので、そういう団体を作るのがよいと申し上げました。もちろん平成13年にMITAの主要メンバーである水島港の会社はできているのですが、この会社を益々充実していくものにするのが非常に大事だと申し上げました。10年経つてみて、本日これだけの皆さんが集まられたことを見ても、水島港の産業界あるいは公共的団体が一体になってそういう会社の経営なり運営がうまく

経済の躍進と船舶の大型化に伴う寄港先の集約に対応するために基幹航路を横浜、東京湾と大阪湾に集約するというのが示されました。

今回、生産拠点の東南アジアへの南下、輸送ルートが多様化など我が国の港を取り巻く情勢が大きく変わる中で、水島であれば、東アジア、東南アジアへのシャトル便など航路網の拡充を図るなど、地方港のアジアへの直行便を大事にするということの中で表に出します。

長期計画には8本の柱が列挙されていますが、「グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築」というのは、水島港は、東南アジアと直結する工業地帯を抱えておりそれを結びつける海上輸送網が必要だという話に繋がってきます。

「持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築」については、国内の人手不足、特にトラックの運転手不足による海運へのモーターシフト、RO-RO船の活用の可能性について勉強しておくよと思います。

「列島のまるごとクルーズアイランド化」は、先ほども申し上げましたが、クルーズ、観光の視点から大いに取り組んでいただきたいと思っています。「ブランド価値を生む空間形成」、これはウォーターフロント開発について、港湾関係者だけでなく、一般の人々も楽しめる空間の創出が必要という話です。

「新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成」は、バルクの話ですね。これは水島港が大いにやっていた方がいいです。「港湾・物流活動のグリーン化」は、環境問題、CO2対策の必要性についてですが、ブルーカーボンの活用など

いつているのではないかと思います。そういう意味で、これは丸だろかなと思います。次に、やはりコンテナの輸送は一定の物理的な機械的装置がなければどうしようもありません。当時はまだ10mの岸壁がある程度だったと思いますが、これではハードとして足りないで、港湾計画上は12mの岸壁がありましたから、是非要求しないかと申し上げました。今回見てみると、ヤードにコンテナがいっぱい積んであり、17万TEUのコンテナを扱っているということですし、この12mの岸壁も耐震強化バースになっています。岡山県は晴れの国で地震も日本でも3番目ぐらいに少なく、自然災害には強い県であるとは思いますが、日本列島に位置する以上、最低限の耐震強化はすべきですので、これもしっかりとやってもらえると思います。

それから、コンテナというのは結構足が長く、水島もそうですが日本の港は、原材料を入れ、工場加工し、部品として、例えば最近では東南アジアに関連企業が工場を造って、その間を行き来する形になっています。また、製品を消費物資としても輸入し、港と工場、或いはもつと後ろの背後圏の間で、また港の中だけでも、水島と玉島の地区間で行き来しますから、高梁川をずっと遡るようなことではいけないから橋を造ることも考えていたので、これは是非早くやった方がよいと言いましたが、今年、完成しましたよね。皆さん一生懸命努力され、かなり事業費もか

水島港でも取組の余地があると思います。

「ICTを活用した港湾のスマート化・強靱化」ですが、アジアと直結する港をつくる際に安全管理と同時に、港の中のスピード感、合理性を高めたAIターミナル化することが世界の港の中で勝つ一つの要素となっています。世界の港湾会社、ハチソンやPSAなどが一生懸命考えていますが、是非MITAの方々がターミナル株式会社と一緒に一生懸命考えていただきたいと思

今日は取りとめの話になりましたけれども、結論は、皆さん方がやっていらつやる仕事がついて、だんだんいい港になってきているので、是非今後とも頑張ってくださいと思います。ありがとうございます。



講演会の様子

# 特集 MITA設立20周年記念講演会

## 「水島港と三菱自動車水島製作所」 講師／三菱自動車工業株式会社 水島製作所副所長 野村 泰弘 氏



野村 泰弘 氏

ただいまご紹介いただきました三菱自動車水島製作所副所長の野村と申します。

本日はMITA設立20周年、誠にありがとうございます。私どもも副会長企業として皆様方と一緒に活動させていただいておりますこと、日ごろより大変お世話になっておりますことに感謝申し上げます。

本日は「水島港と三菱自動車水島製作所」というタイトルでお話をさせていただきますが、その前に一言だけエピソードを申し上げたいと思います。

それは、私どものグリーン会長が去る6月に岡山空港に下り立って、当製作所を視察する機会がございました。通常ですと、水島ICで下りて、東から私どもの工場に入るので、伊東市長のアドバイスもいただき、玉島ICで下りて、3月に竣工した倉敷みなと大橋を渡って、西側から工場に来ていただきました。当然、今日お越しの国会議員の先生、岡山県知事、伊東市長、皆さんがこのインフラを整備されたこと、私ども企業にとっても、たくさん、水島と玉島を結ぶこの橋はかけがえない橋になると説明したところ、民間

企業の上高に直接的に繋がるような行政の投資というのは多分グリーン会長の辞書にはないのではないかと、思うくらい驚かれ、その勢いでこの水島製作所、これからの生産台数を伸ばすんだという今度のビジネスプランにも繋がっていくことになったことを冒頭ご報告し、お礼を申し上げます。

歴史を少し紐解きますと、高梁川は昔、川が2本あり、西側が今の高梁川で、東側の東高梁川、この跡地が私どもの三菱重工水島航空機製作所にも物資や従業員を運ぶ水島臨海鉄道になったということですが、私どもは、昭和18年から74年間この水島でお世話になっている会社ということになります。

戦前に造った戦闘機は終戦直前に空爆を受けて、その廃墟からの出発というのが私どもの工場のスタートで、終戦直後の昭和21年に「みずしま号」という小型三輪トラックを試作し、自動車工場として生まれ変わりました。

主に商用車、小型あるいは軽自動車を得意とする工場、南北に1.7キロ、東西に1.5キロ、125万平米の敷地の中に、プレス工場に加えて軽自動車エンジン組み立て、鍛造工場などエンジンから完成車組み立てライオンまで、車造りの全工程がある世界でも珍しい工場ということになります。

現在は日産の軽自動車デイズ、デイズルークスを一緒に造っていますが、生産台数のピークは1993年の72万5千台、昨年は残念ながら19万5千台とピークの4分の1の台数で、生産能力を生かし切れてない状況にあります。今年、元々岡崎製作所で造っておりましたSUVタイプの乗用車RVR

を、地元政財界の皆様方からの強い声に後押しされ、この12月に移管となり、今その準備中でございます。RVRは全世界に輸出をしておりますので、今までの軽主体の国内専用車種の工場から輸出も含めた工場に生まれ変わろうとしているちょうど過渡期にあります。

水島港と私どもの繋がりとということで、まず、完成自動車ですけれども、2016年、国内向けに4万9千台、海外向けに5万7千台の合計10万6千台を生産し、うち8万1千台を国内あるいは中近東、米国、欧州、あるいはオーストラリアなど海外向けに海上輸送をさせていただきました。

現地化が進み、海外工場向けのノックダウン部品も、2016年のコンテナ出荷本数で直接海外に500TEU、神戸港フイダーで2,100TEUでございます。昨今では、当工場も海外製造部品の輸入比率が上がっており、韓国、中国、台湾、タイなどから、タイヤやアルミホイール、ステアリングスウィッチ、ハーネスなど9年前と比べると約1.5倍の996TEUを輸入しております。

水島港の特徴は、原油、鉄鉱石、石油製品の外貨取扱量に占める割合が50%で、完成自動車と部品は合わせて3.2%という状況になっております。貨物取扱量は8,400万トンの全国9位ですが、輸入中心の港ということでございます。自動車の輸出货量は、名古屋、三河、横浜、広島、川崎という順位で、私ども三菱自動車の状況がグラフに反映され、残念ながら水島港は圏外になっております。

最後に、MITAを中心に浚渫ある

## 「当社の事業戦略と水島港への期待」 講師／全農サイロ株式会社 代表取締役専務 荒波 隆一 氏



荒波 隆一 氏

ただいまご紹介にあずかりました全農サイロ株式会社の荒波でございます。このたびMITAの設立20周年誠にありがとうございます。

私どもも、2014年に玉島ハーバーアイランドへの進出に伴ってこの協議会に参加をさせていただきました。その際、私どもの進出に際し、非常にご尽力いただきました国会議員の先生方、中国地方整備局をはじめ国交省の方々、岡山県、倉敷市、あるいはこのMITAのメンバーの各企業の方々には厚く感謝と御礼を申し上げます。

本日は、私どもの事業戦略と水島港への期待についてお話をさせていただきます。

私ども、全農グループの一員といたしまして畜産飼料事業の原料物流の一端を担っており、世界中から穀物、トウモロコシ、マイロ(コウリヤン)あるいは大豆を集荷しております。主にアメリカ、次が南米で、アメリカはメキシコ湾のニューオリンズと西海岸からが中心でございます。ニューオリンズからは本船で約35日、西海岸からは約2週間、日本に参ります。アメリカに全農グループは、中西部のミシシッピ川、イ

間企業の売上高に直接的に繋がるような行政の投資というのは多分グリーン会長の辞書にはないのではないかと、思うくらい驚かれ、その勢いでこの水島製作所、これからの生産台数を伸ばすんだという今度のビジネスプランにも繋がっていくことになったことを冒頭ご報告し、お礼を申し上げます。

歴史を少し紐解きますと、高梁川は昔、川が2本あり、西側が今の高梁川で、東側の東高梁川、この跡地が私どもの三菱重工水島航空機製作所にも物資や従業員を運ぶ水島臨海鉄道になったということですが、私どもは、昭和18年から74年間この水島でお世話になっている会社ということになります。

戦前に造った戦闘機は終戦直前に空爆を受けて、その廃墟からの出発というのが私どもの工場のスタートで、終戦直後の昭和21年に「みずしま号」という小型三輪トラックを試作し、自動車工場として生まれ変わりました。

主に商用車、小型あるいは軽自動車を得意とする工場、南北に1.7キロ、東西に1.5キロ、125万平米の敷地の中に、プレス工場に加えて軽自動車エンジン組み立て、鍛造工場などエンジンから完成車組み立てライオンまで、車造りの全工程がある世界でも珍しい工場ということになります。

現在は日産の軽自動車デイズ、デイズルークスを一緒に造っていますが、生産台数のピークは1993年の72万5千台、昨年は残念ながら19万5千台とピークの4分の1の台数で、生産能力を生かし切れてない状況にあります。今年、元々岡崎製作所で造っておりましたSUVタイプの乗用車RVR

くみさんは、近畿、中国、四国の供給圏に玉島ハーバーアイランドで80万トン、当社もこれに伴ってこの地域の飼料原料を扱うサイロとして計画してございます。

瀬戸埠頭様、PGC様、私どもの3つのバースを共同利用して大型本船で持つてきて、現在のところは瀬戸埠頭様で足を切って14メートルの航路でこの玉島を持つて来たいと私も思っております。これによってかなり物流のメリットが出ることは、もうまず間違いないだろうと、私どもも日本の畜産農家も期待しているところでございます。

倉敷支店の概要ですが、敷地面積が約3万8千平米、収容能力が11万トンで、100万トン、約10回転近しいものを扱いたいと思っております。搬入設備は3系列、サイロピンは1本当たりが千トン強入るもので、私どもの後ろにJ-オイルミルズ様、その後ろに西日本くみあい飼料様がございまして、公共岸壁の完成後は、本船から荷役機械で吸い上げて保管をし、大豆はJ-オイルミルズ様、トウモロコシは西日本くみあい飼料様に行くとともに玉島港を拠点にして九州などに内航船でトウモロコシを運び出す施設も造る計画にしております。

次は、公共岸壁にどんな機械が載るかということ、船倉の中のトウモロコシをバケツですくって上げてコンベヤーに落とす機械式連続アンローダという設備、掃除機のように先端から空気吸い上げて搬入をするニューマチックアンローダ、あと、内航船に積みかえるためのシップローダを県にお願いしております。



食料コンテナ完成イメージ(全農サイロ提供)



三菱自動車SUVタイプ/RVR (三菱自動車工業提供)

現在、公共岸壁が建設途中です。荷役は外資1号埠頭に船を着けまして、上組様の協力を得て、本船のクレーンなり陸クレーン等で吸い上げて、2キロほどトラックで輸送して切り込んでございます。内航船の積みかえも同様でございます。

以上が全農グループの飼料事業の一端であり、私ども倉敷支店の荷役の説明でございます。私どもでは、今後JA西日本くみあい飼料様、J-オイルミルズ様の発展とともに荷役扱いを増やし、水島・玉島港の発展に寄与していきたいと考えている次第でございます。

いはいみなと大橋等々のインフラに対してしっかりと取り組んでいただいております。そういった地域、地元にももまますは、この12月から生産を本格的に開始するRVRの完成車やノックダウン部品を全世界へ輸出をし、水島港に貢献をさせていただくことで、水島港と共に、一体となった企業の発展をしていきたいと思っております。

グリーン会長ともビジネスプランをどうするかという話をしておりますけれども、現在20万台の生産能力を倍の40万台にするということですので、当然輸出、あるいは国内向けを含め、海上輸送を初めとして皆様方と一緒にインフラを盛り上げていく役割をしっかりと担っていきたくと思っております。ご清聴ありがとうございます。

# 水島港国際物流ターミナル整備事業着工式典

## 水島港国際物流ターミナル整備事業着工式典を開催

平成30年1月27日(土)、倉敷市玉島文化センターで、今年度新規採択された「水島港国際物流ターミナル整備事業」の着工式典が、玉島ハーバーアイランドに新たに整備される岸壁の本格着工に合わせて開催されました。

MITAはこれまで、「国際バルク戦略港湾としての整備促進」を国に要望してきており、式典当日は、MITA顧問の地元選出国会議員6名のほか、多くの会員も出席し、約200人により事業の着工を祝いました。



玉島ハーバーアイランド7号埠頭完成イメージ



式辞を述べる伊原木岡山県知事



式辞を述べる伊東倉敷市長

式典では、倉敷少年少女合唱団によるオープニングセレモニーのあと、主催者からの式辞では、始めに伊原木隆太岡山県知事が登壇し、「本事業により、水島港の機能が飛躍的に高まるとともに、本県経済の発展に大きく寄与すると確信している。」と述べ、次に伊東香織倉敷市長が「海上輸送コストが約2割削減されることにより、競争力が大きく高まる。水島の発展のため、県、国とともに地域の環境整備に取り組んでいきたい。」と述べました。続いて国土交通省の菊地身

智雄港湾局長が「政府が進める生産革命を象徴するプロジェクトであり、一日も早い完成に向け取り組んでいきたい。」と述べるなど、それぞれが本事業への思いを込め、挨拶しました。

その後、参列した地元選出国会議員の方々からの祝辞に続き、工事を担当する中国地方整備局宇野港湾事務所長が事業の概要を説明しました。

式典の最後を飾る着工セレモニーでは、着工現地を中継したモニターが会場に用意され、参列した国会議員、岡山県知事、倉敷市長ら13名が、倉敷少年少女合唱団の子供たちと共にモニターの前で起動スイッチを押すと、現地の杭打機が起動、会場に響く打設音とともに大きな拍手が起こり、事業の着工を盛大に祝福しました。

当該事業の総事業費は259億円、事業期間は2021年度までで、企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送に必要となる、岸壁・航路・泊地が整備されます。

これにより、これまで減載して入港していたパナマックス船が満載で入港可能となり、かつ、共同輸送により港内の複数地区に寄港することで、約2割の輸送コスト削減の効果が期待されます。

## 玉島ハーバーアイランド新規企業立地

### 玉島ハーバーアイランドへの企業立地が決定しました

玉島ハーバーアイランドに株式会社上組が、業務拡大に向けての新たな物流拠点を建設することが決定し、平成29年11月21日に発表しました。

また、同年8月にも株式会社明治が国内外の販売の伸長に伴う、生産・物流機能の拡大に対応するため、またアイム株式会社が業務拡大に対応するための新たな生産拠点を建設することを発表しており、当地区への企業進出が続いています。

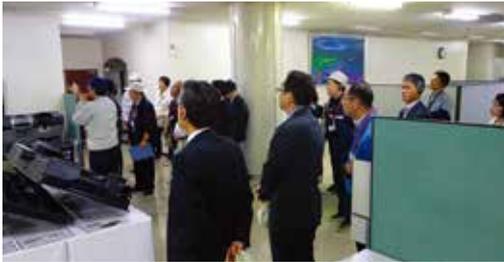
今回の立地により、玉島ハーバーアイランドへの立地は28社(70.2ha)となりました。残り約18.8haの分譲に向け、引き続き地元倉敷市やMITAと連携し誘致活動に取り組んでまいります。

(岡山県企業誘致・投資促進課)



玉島ハーバーアイランド

## 水島港見学会を開催



三菱プラスチック株での見学の様子



三菱自動車工業株水島製作所での見学の様子

平成29年10月21日に水島港見学会を開催しました。今年度は「教職員ものづくり見学会」と題し、岡山県内工業系高校を中心とした教職員向けに、水島コンビナート企業のサプライチェーンを通じて水島ものづくりへの理解を深めていただくとともに、学校現場における教育や進路指導にお役立ていただきたいとの思いで企画しました。当日は生憎の雨模様ではありましたが、21名の方に参加いただきました。まず最初に、バンパーなど自動車のプラスチック製品全般を製造する「三菱プラスチック(株)」を見学しました。午後からは「三菱自動車工業(株)水島製作所」において実際の車が組み立てられるプロセスを見学するとともに、技術の伝承や安全講習などの取組みについても説明を受けました。最後に水島港からチャーター船に乗り、海からコンビナートや玉島ハーバーアイランドを見学しました。

初めての試みではありましたが、先生方が非常に熱心に見学や質問をされている姿が印象的でした。人材不足が深刻となる中、水島ものづくりの幅広さや技術力の高さを教育の場を通じて生徒たちにも知ってもらい、将来の進路を考えるきっかけづくりになれば幸いです。

## JFE西日本フェスタinくらしき&三菱感謝祭へ出展



大人気のクレーンゲーム



水島港紹介パネル

平成29年11月3日(金)、JFEスチール株式会社西日本製鉄所(倉敷地区)で開催された「JFE西日本フェスタinくらしき」に今回で9回目の出展を行いました。また、11月19日(日)には、三菱自動車工業株式会社水島製作所で開催された「三菱感謝祭」に初めて出展しました。

MITAのブースでは、水島港の概要、取扱貨物や定期コンテナ航路を解説するパネル、水島港の利用促進に努めるMITAの活動を紹介するパネルを展示しました。その他、ポートニュースのバックナンバーなどの配布により、水島港の最新の話題についても紹介しました。

両日とも晴天に恵まれ、荷役体験機(クレーンゲーム)によるアトラクションは長蛇の列となり家族連れに大好評でした。

## 「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催



杉社長のあいさつ



意見交換会の様子

当社では平成29年11月8日、東京都内において水島港国際コンテナターミナルの利用促進を図るため、水島港をご利用いただいている外貿定期コンテナ航路のある船社関係8社にご出席いただき、水島港の船舶代理店4社、岡山県港湾課及び東京事務所、並びに倉敷市水島港振興室や当社の経営諮問委員を交えて、昨年度に引き続き「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催しました。

当社社長杉の開会あいさつに続き、水島港国際コンテナターミナルの現況について、当社から説明を行うとともに、岡山県港湾課より水島港国際コンテナ集荷に係るインセンティブ制度の拡充等について説明をいただきました。その後の意見交換会では、出席各社より忌憚のないご意見や有益なご提言を多数いただいたところであります。

ご意見の一例としては、「水島港の危険物の取り扱いについて」、「コンテナリペアショップの整備について」などがありました。この意見交換会で各社よりいただいたご意見やご提言、また現在行なっている荷主企業の訪問において伺った情報をしっかり検討し、コンテナ貨物の増加や利用促進につながるように活動していきたいと考えております。また、意見交換会終了後に開催した懇親会では、和やかな会となり親睦を深めることができました。

今後ともこうした取り組みを継続して行いたいと考えております。

(水島港国際物流センター)

# 水島港の定期コンテナ航路等の紹介

## ◆外貿定期コンテナ航路(3ヶ国1地域18航路 19便/週)◆

2018年2月末現在

曜日	航路	船社	航路	代理店
月	ベトナム	ワンハイラインズ(株) Wan Hai Lines Ltd.	(月) (土) (日) (月) (月) (水) (木) (金) (土) (水) (木) (木) 博多→水島→神戸→大阪→台北→台中→高雄→ダナン→ホーチミン→高雄→台中→台北→博多	中谷興運(株)
	大連	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(木) (土) (月) (火) (土) 大連→青島→伊万里→福山→水島→高松→広島→三田尻中関→大連	(株)上組玉島支店
	大連	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(火) (木) (金) (月) (金) (土) 天津新港→大連→青島→福山→水島→広島→細島→志布志→寧波→上海	日本通運(株)水島海運支店
火	韓国	南星海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd	(木) (金) (月) (火) (水) 釜山→浜田→水島→三島川之江→釜山	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(木) (金) (金) (土) (火) (木) 浦項→蔚山→釜山→大阪→神戸→水島→福山→広島→浦項	中谷興運(株)
	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd	(日) (月) (火) (木) (木) 釜山→博多→三島川之江→水島→今治→釜山	山九(株)岡山支店
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(土) (火) (土) (土) 上海→福山→水島→高松→広島→岩国→上海	(株)上組玉島支店
	福州	吉舟船務有限公司 Ji Zhou Shipping Co.,Ltd.	(木) (金) (金) (土) (火) (木) (火) (木) 廈門→江陰→福州→水島→大阪→横浜→東京→名古屋→福州→廈門	日本通運(株)水島海運支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(金) (土) (金) (火) (火) (木) (金) 寧波→上海→伊万里→福山→水島→広島→志布志→天津新港→大連→青島	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	天敬海運(株) C.K.Line Co.,Ltd.	(土) (日) (水) (木) (木) 釜山→宇部→三島川之江→水島→釜山→北九州(門司)→博多	中谷興運(株)
水	韓国	カメラライン(株) Camellia Line Co.,Ltd.	(土) (日) (水) (土) (日) 釜山→博多→大阪→水島→広島→三田尻中関→北九州(ひびき)→釜山	中谷興運(株)
	韓国	興亜海運(株) Heung-A Shipping Co.,Ltd.	(月) (水) (木) (木) 釜山→今治→松山→三島川之江→水島→釜山	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	汎洲海運(株) Pan Continental Shipping Co.,Ltd.	(月) (木) (金) (土) (日) 釜山→広島→神戸→大阪→高松→水島→蔚山→釜山	中谷興運(株)
木	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(水) (金) (日) (水) (水) 釜山→広島→水島→今治→釜山→長崎→熊本→八代→釜山	中谷興運(株)
	上海	民生輪船有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(火) (金) (火) (火) 上海→三田尻中関→水島→福山→広島→徳山下松→上海	(株)上組玉島支店
	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd	(火) (金) (火) (火) 上海→福山→水島→三島川之江→広島→大分→上海	日本通運(株)水島海運支店
土	韓国	天敬海運(株) C.K.Line Co.,Ltd.	(水) (木) (土) (日) (月) (火) (水) (木) 釜山→神戸→大阪→水島→釜山→仁川→釜山	中谷興運(株)
	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd	(木) (土) (日) (日) 釜山→三島川之江→今治→水島→釜山	山九(株)岡山支店
	韓国	興亜海運(株) Heung-A Shipping Co.,Ltd.	(木) (土) (日) (月) 釜山→広島→福山→水島→釜山	日本通運(株)水島海運支店

## ◆内貿定期コンテナ航路(6航路 10便/週)◆

曜日	航路	船社	航路	代理店
火木土	神戸	(株)ユニエックス Uni-x Coporation	神戸→水島→神戸 神戸→三島川之江→水島→神戸	中谷興運(株)
火木	神戸	井本商運(株) Imoto Lines .Ltd	神戸→水島→神戸	(株)上組玉島支店
月木土	神戸	オリエントオーバーシーズコンテナライン(株)日本支社 Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch	神戸→水島→神戸	(株)上組玉島支店
火	神戸	西日本内航(株)フィーター合同会社	神戸→水島→神戸→松山→徳山下松→今治→神戸	(株)上組玉島支店
木	沖縄	南日本汽船(株) Minami Nippon Kisen Co.,Ltd.	那覇→呉→新居浜→三島川之江→水島→高松→新居浜→那覇	日本通運(株)水島海運支店

### ■お問い合わせ先

#### 中谷興運株式会社 玉島支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内) / TEL.086-522-6321(代) / FAX.086-522-6631

【営業課】TEL.086-522-7600(貨物取扱全般) 【倉庫・陸運課】TEL.086-522-6494(倉庫・配送)

【通関課】TEL.086-522-6492(輸出入通関) 【海務課】TEL.086-523-5551(船社代理店・CY) ホームページアドレス <http://www.nakatani-grp.com/koun/>

#### 日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)

【国際営業課】TEL.086-523-0203 / FAX.086-523-0404(国際営業)

【海運課】TEL.086-523-0205 / FAX.086-523-1471(港湾荷役・倉庫・配送)

【国際輸送課】TEL.086-523-0203 / FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング)

【オペレーション課】TEL.086-523-0223 / FAX.086-523-1471(作業関係)

【代理店課】TEL.086-523-0204 / FAX.086-523-1755(船社代理店関係) ホームページアドレス <http://www.nittsu.co.jp/>

#### 株式会社 上組 玉島支店 港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890 ホームページアドレス <http://www.kamigumi.co.jp/>

#### 山九株式会社 岡山支店 業務グループ

【船舶代理店関係/港運係】 〒712-8051 岡山県倉敷市中畝1-7-23 / TEL.086-455-8133 / FAX.086-455-8167

【通関・輸出入乙仲関係/輸出入係】 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / 水島港国際コンテナターミナル4F TEL.086-525-0039 / FAX.086-525-5139

ホームページアドレス <http://www.sankyuu.co.jp/>

今号の倉敷市玉島文化センターで行われた水島港国際物流ターミナル  
表紙 整備事業着工式典の様子が。(平成30年1月27日)

MITA(水島ポートニュース)ホームページアドレス  
<http://www.optic.or.jp/MITA/> 携帯からはこちら▶▶

